

工事説明書

ガスビルトインコンロ [単体設置タイプ]

型 式 名

DC3020SL

誤った機器の設置を行った場合の危害・損害の程度を、次のように区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。



禁止



必ず守る



分解禁止

設置される方へ (この「工事説明書」を設置前に必ずお読みください。)



設置するときは、可燃物との距離を確実に離す

必ず守る 火災の原因になります。

- ・周囲の壁が不燃材料以外で、トッププレートに貼り付けの防火性能評定品ラベルに記載されている離隔距離を確保できない場合は、絶対に設置しないでください。
どうしても設置しなければならない場合は、必ず別売部品の防熱板を取り付けてください。
防熱板を取り付けなかった場合、火災のおそれがあります。
※仕上げの構造が確認できない場合は、必ず防熱板を取り付けてください。→ 3～4 ページ
- ・この機器は、単体設置タイプのためオーブンとの接続はできません。



必ず守る

機器を安全にご使用いただくため、この工事説明書をよく読んでから、有資格者による指定された設置を行う



必ず守る

建築基準法、当該地区の市・町・村の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準および実務指針」(一般財団法人日本ガス機器検査協会刊)に従う



禁止

トッププレートのガラス裏面には、絶対にキズをつけない
ガラス強度が著しく低下し、破損しやすくなります。
また火災・損傷事故の原因になります。



禁止

機器の上には絶対にのらない

また、ガラスに強い衝撃を与えたり、過度な荷重をかけない
ごとくの変形やトッププレートのガラス破損につながり、
異常過熱や火災の原因になります。



必ず守る

設置するときは、手袋をはめて行う

機器の突起物などでけがをする原因になります。



分解禁止

設置で必要とところ以外は絶対に改造・分解は行わない

一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、火災の原因になるおそれがあります。



- ・乾電池を抜かずに器具栓つまみを「点火の状態」で放置しないでください。
- ・乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。
そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

- ・この工事説明書に基づいて、設置されていることを確認してください。
- ・設置が終了したら、設置後の点検確認のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- ・この工事説明書の記載内容から外れた設置が原因で生じた故障および損傷は、保証期間内であっても保証の対象とならないので注意してください。
- ・設置終了後、保証書(取扱説明書に記載)に必要事項を記入し、必ずお客さまに渡してください。
- ・取扱説明書に従って、お客さまに機器の操作方法など、取り扱い説明をしてください。



59265500

ケJ55

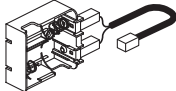
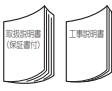
○もくじ

同こん部品	2	機器の設置	5～11
各部のなまえ	2	ガス接続・ガス配管工事	裏表紙
設置前の注意	3	設置後の点検確認	裏表紙
設置場所の確認	3～4	試運転	裏表紙

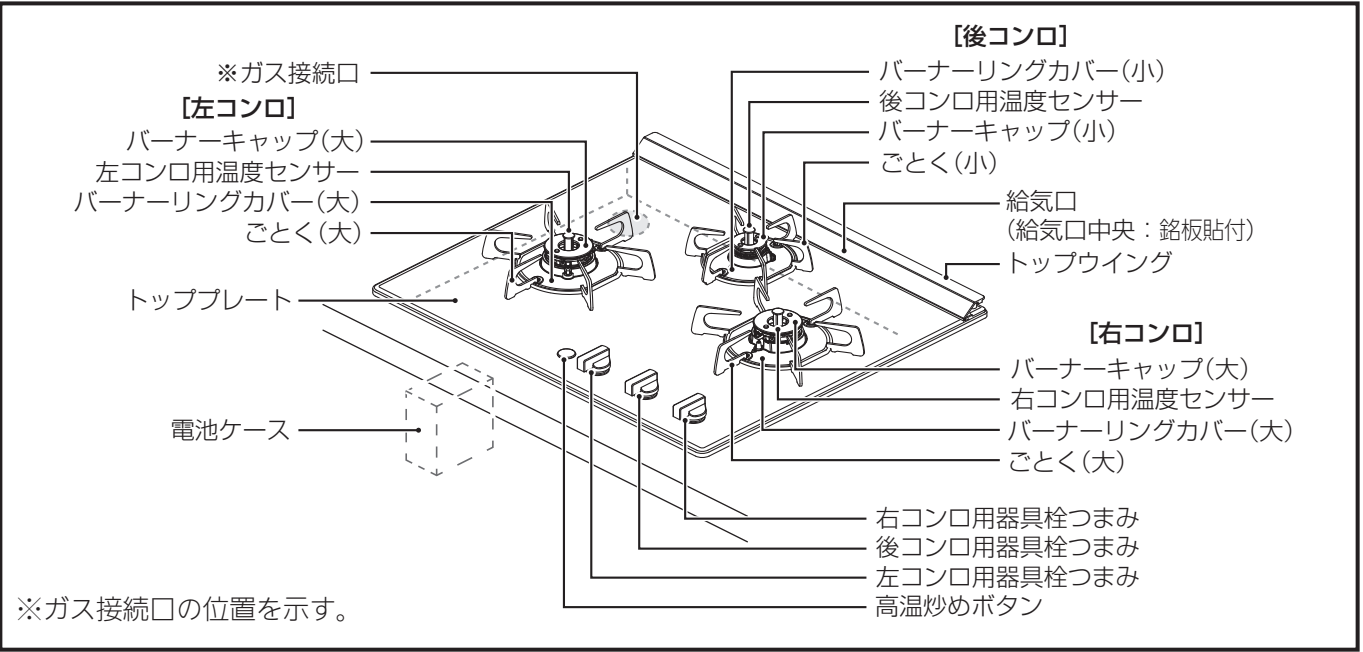
同こん部品

◎同こん部品・付属品の確認

次の部品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

部 品 名	形 状	個 数	部 品 名	形 状	個 数
バーナーキャップ(大) ＜左右コンロ用＞		2	トップウイング		1
バーナーキャップ(小) ＜後コンロ用＞		1	電池ケース (中継ハーネス付き)		1
ごとく(大) ＜左右コンロ用＞		2	中継ハーネス 固定用クリップ		2
ごとく(小) ＜後コンロ用＞		1	電池ケース 固定用ネジ		2
バーナーリングカバー(大) ＜左右コンロ用＞		2	トッププレート 固定用ネジ×2		1
バーナーリングカバー(小) ＜後コンロ用＞		1	お試し用乾電池(単1形)		2
器具栓つまみ		3	取扱説明書(保証書付) 工事説明書		各1

各部のなまえ



設置前の注意

◎設置する機器の確認

- ・設置する機器が、ご使用になる目的、用途に適合していることを確認してください。

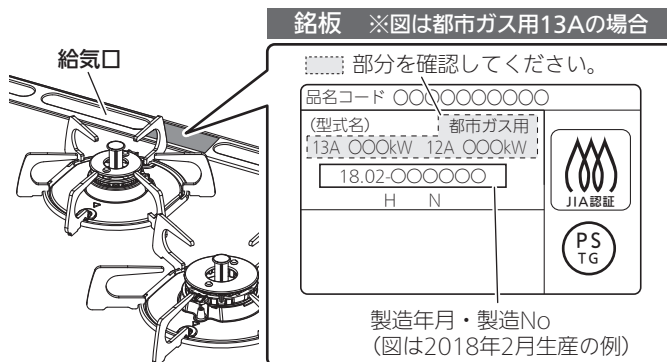
⚠注意

- 必ず守る**

 銘板(給気口中央部に貼付)に表示してあるガスに適合していることを確認する
 火災・不完全燃焼・異常点火のおそれや、機器が故障する原因になります。
- 必ず守る**

 ガス種の異なる地域へ転居した場合は、部品交換や調整が必要のため注意する
 爆発や不完全燃焼の原因になります。
- 必ず守る**

 この機器は家庭用の調理以外の用途には使用できないため、用途を確認し設置する
 火災・不完全燃焼・機器の故障の原因になります。



設置場所の確認

◎防火上の離隔距離

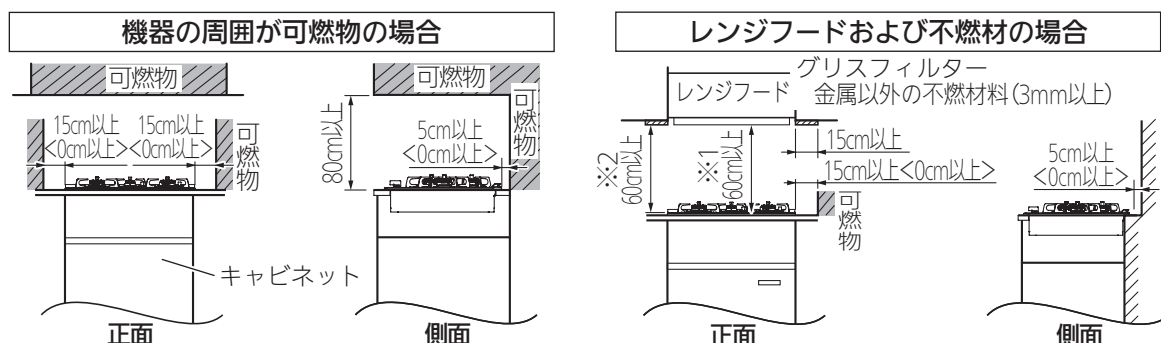
- ・機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することができる場所に設置してください。
- ・この機器は防火性能評定品です。

⚠注意

- 必ず守る**

 周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する
 火災の原因になります。

※機器の周囲の可燃物(可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む)との離隔距離は、トッププレート上部に貼り付けの防火性能評定品ラベルに基づき離隔距離を確保してください。



※< >内は、周囲の壁を不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。

※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。

※2 不燃材料がない場合もしくは、金属以外の不燃材料の厚みが3mm未満の場合は、80cm以上。

◎上記離隔距離がとれない場合や、仕上げの構造がわからない場合は、必ず防熱板による防火措置を行ってください。(4ページ参照)

⚠ 注意



防熱板(別売部品)は、必ず指定のものを使用する

必ず守る 防熱板に同梱されている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。
防熱板を取り付けないと、火災の原因になります。

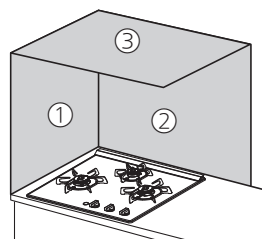
・防熱板は4種類用意しています。

・用途に適した防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。

※取り付け方法は別売部品の防熱板に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

コード番号	高さ(mm)	幅(mm)
① DP0128	590	535
② LP0130	590	600
③ LP0107	550	900
④ DP0101	90	600

※DP0101はワークトップ後部の立ち上がり用



(ワークトップの後部に)
立ち上がりがある場合)

※イラストはイメージ図です。

防熱板のお求めは販売店に、防熱板に関するご不明点は、弊社窓口(取扱説明書の裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。

・設置場所をお決めになるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

⚠ 注意



設置するガス機器および同一室内に設置してある他のガス機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置する

必ず守る 他のガス機器と同時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。



設置場所を決めるときは、お客さまとよく相談し、安全な場所で、周囲に危険物・可燃物などがなく、火災の危険がない場所に設置する



水平で丈夫な場所に設置する



保守メンテナンススペースが確保されていることを確認する



設置後、トラブルの原因になったり、点検・修理に支障をきたします。



引火性の危険物(ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など)や、業務用薬品(アンモニア、硫黄、塩素、エチレン化合物、酸類などの腐食性薬品)を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しない



ガス機器は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置する



棚の下など落下物の危険がある場所や樹脂製の照明器具、ガス湯沸器の下には設置しない
火災のおそれや思いがけない事故の原因になります。



この機器は家庭用のため、業務用として使用する場所に設置しない
著しく機器の寿命が短くなります。



機器後方の給気口をアルミマットやテープなどでふさがない
点火不良や不完全燃焼の原因になります。



キャビネットを背板などでふさぐ



・コンロ後方がふさがれていない場合は、ベニヤ板やアルミテープなどでふさいでください。(図1)

コンロ後方がふさがれていないと、コンロと後方空間や外気との間で異常な空気の流れが生じる場合があります。(図2)

コンロの炎がゆらいだり、消えたり、異常燃焼や機器焼損のおそれがあります。

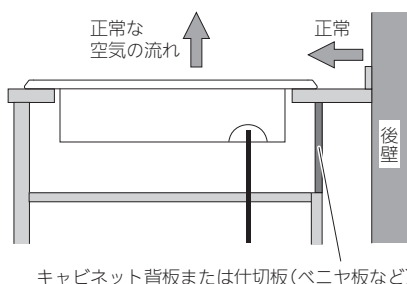


図 1

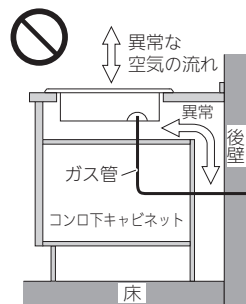


図 2

※別売部品の仕切板セット(DP0723、DP0724)を用意しています。仕切板セットのお求めは販売店に、仕切板セットに関するご不明点は、弊社窓口(取扱説明書の裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。

・上記のほか設置場所について、次のことを守ってください。

- ・冷暖房装置の吹き出し口近くや、強い風が吹き込む場所に設置しない。
- ・奥行き600mm以上のワークトップに設置する。

機器の設置

◎ワークトップおよびキャビネットについて

- ・ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板(JIS K6903)または同等以上の材料としてください。
- ・ワークトップの表面がニス引きのものは変色しますので使用しないでください。
- ・機器を組み込むために、下図の寸法穴に加工してください。
- ・穴あけ寸法は、公差内になるように加工してください。公差外になると取り付けができなくなります。

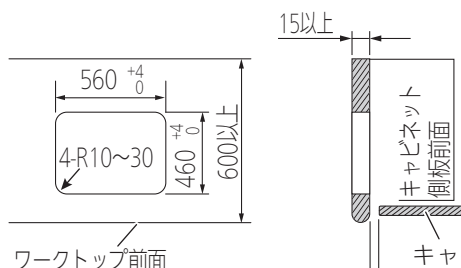
⚠ 注意



禁止

45mmを超える厚いワークトップには設置しない
ワークトップの温度が上がり焼損のおそれがあります。
また、不完全燃焼の原因になります。

穴あけ寸法



〈単位：mm〉

空気が流れるよう3以上のすき間を確保のこと。

⚠ 注意



必ず守る

キャビネット側板の上に穴あけ加工をしない
機器が取り付けができなくなります。

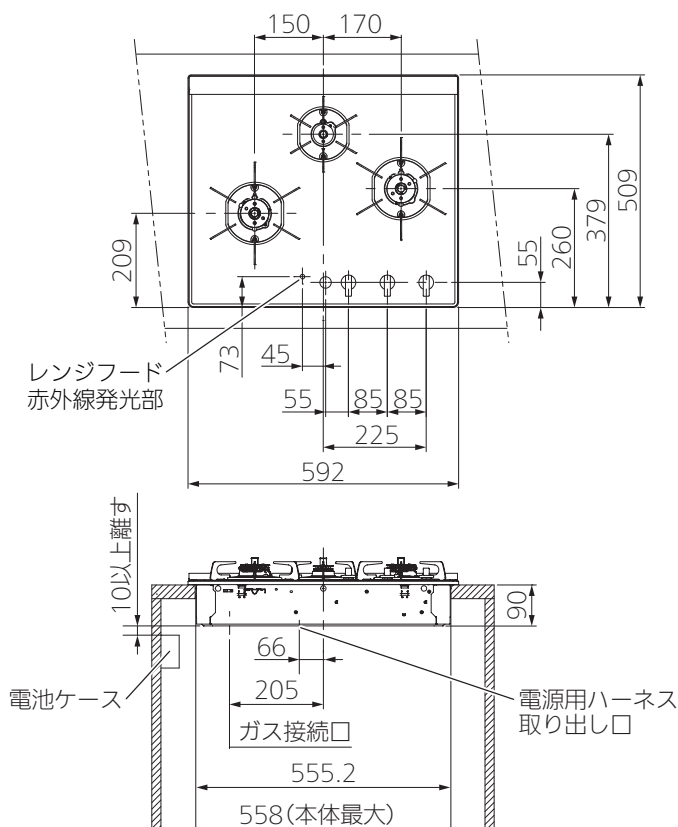


キャビネット
とびら側面

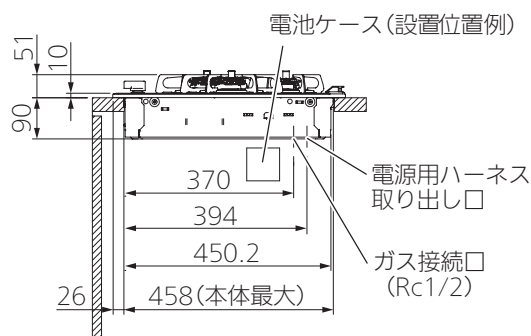
機器が設置できない穴あけ

◎機器の取り付け

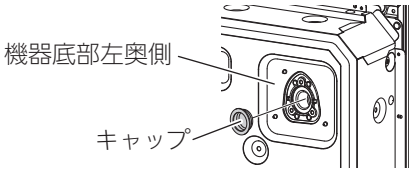
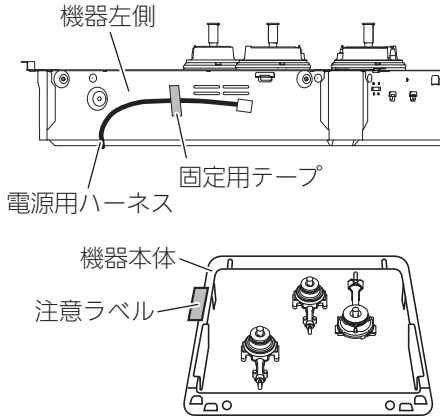
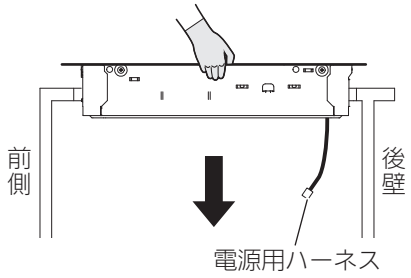
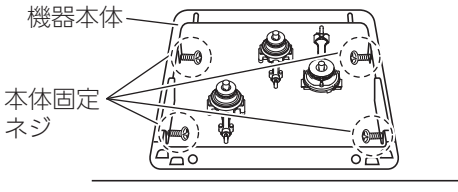
[標準設置図・機器寸法図]



〈単位：mm〉



[機器本体の取り付け]

作業手順	説明図
1. 機器側ガス接続口のキャップの取り外し 機器底部左奥側のガス接続口に取り付けてあるキャップを取り外してください。 《取り外したキャップは不要です。》	ガス接続口位置は 2・5ページ参照  機器底部左奥側 キャップ
2. 電源用ハーネスの固定用テープの取り外し 機器左側に貼り付けている固定用テープを取り外してください。 ※固定用テープを取り外したことを確認後、機器本体に貼り付けている注意ラベルを取り外してください。 ⚠ 注意 固定用テープは必ず取り外す ! 固定用テープを取り外さずにはめ込むと、<u>電源用ハーネスにキズがつき作動不良の原因になります。</u> 必ず守る	 機器左側 電源用ハーネス 固定用テープ 機器本体 注意ラベル
3. 機器本体のはめ込み 機器両側を持ち、機器本体をキャビネットに、はめ込んでください。 ※はめ込みむときは電源用ハーネス・ワークトップなどをキズつけないように注意してください。 ⚠ 注意 ⊘ 絶対にガス配管やバーナーなどを持たない 禁止 <u>ガス漏れや異常燃焼の原因になります。</u>	 前側 後壁 電源用ハーネス
4. 機器本体の固定 機器本体の位置決めは、機器本体側面の本体固定ネジ(4本)でワークトップに固定してください。 ⚠ 注意 ⊘ 本体固定ネジを締め込みすぎない 禁止 <u>ワークトップを壊したり、コンロが変形したり、トッププレートが浮く原因になります。</u>	 機器本体 本体固定ネジ

[部品の取り付け]

作業手順	説明図
1. バーナーキャップの取り外し ・トッププレートを取り付ける前にバーナーキャップを外してください。 ⚠ 注意 バーナーキャップは必ず取り外す 必ず守る バーナーキャップを取り外さずにトッププレートの取り付けを行うと、トッププレートにバーナーキャップが当たり、<u>キズなどがつくおそれがあります。</u>	
2. トッププレートの取り付け 1. トッププレート前部に貼り付けているトッププレート固定用ネジ④を外してください。 (このネジは、4. で使用します。) 2. トッププレートを水平に保ちながら機器本体にかぶせます。 バーナーリングとバーナーを合わせながらトッププレートを取り付けてください。 トッププレート裏面突起部がトッププレート固定バネに確実に固定するように、トッププレート手前部を押さえてください。 3. 器具栓スピンドルが、トッププレート右前部の穴(3カ所)の中心になるようにトッププレートの位置を合わせてください。 4. 1. で外したトッププレート固定用ネジ④で、トッププレートを機器本体後部に右側から固定してください。 《必ず手動ドライバーを使用!》 ※電動ドライバーは、ネジが利かなくなります。 お願い ・トッププレートの取り付けは確実にいき、浮きがないことを確認してください。 ・トッププレート枠下部周囲に取り付けられているシールパッキングが外れていないか確認してください。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	

トッププレート取り付け後、必ず確認してください。

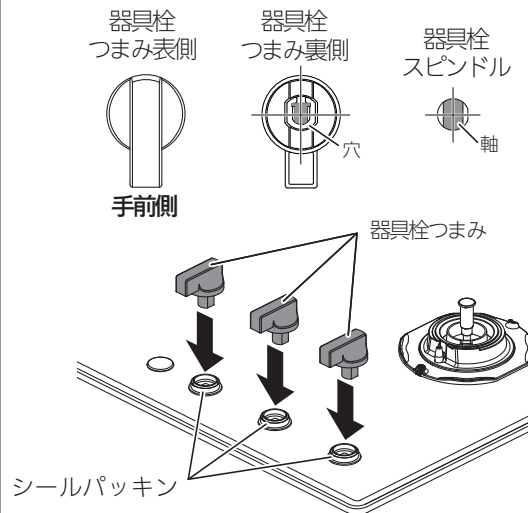
⚠ 注意 必ず守る トッププレート取り付け後、バーナーリングの「浮き」がないことを必ず確認する。 <u>「浮き」があると煮こぼれが機器内部に浸入し、故障の原因になります。</u> 必ず守る トッププレート取り付け後、バーナー用パッキングがはみ出していないことを必ず確認する。 <u>はみ出していると、バーナーの炎により、バーナー用パッキングが破損するおそれがあります。</u>	バーナーリング バーナーリングの浮きがないことを確認 バーナーリングの全周を両手で押さえ、バーナーリングの浮きがないようにしてください。 バーナーリング バーナー用パッキングがはみ出ている バーナーリング バーナー用パッキングがはみ出していない状態 バーナーリング バーナー用パッキングがはみ出ている
---	---

3. 器具栓つまみの取り付け

- 器具栓スピンドル軸部に器具栓つまみ穴部を合わせ、器具栓つまみの取っ手が手前になるようにし、奥まで差し込んでください。

お願い

- トッププレート右前部の穴に取り付けられているシールパッキン(3カ所)が外れていないか確認してください。



4. バーナーリングカバー・バーナーキャップ・ごとの取り付け

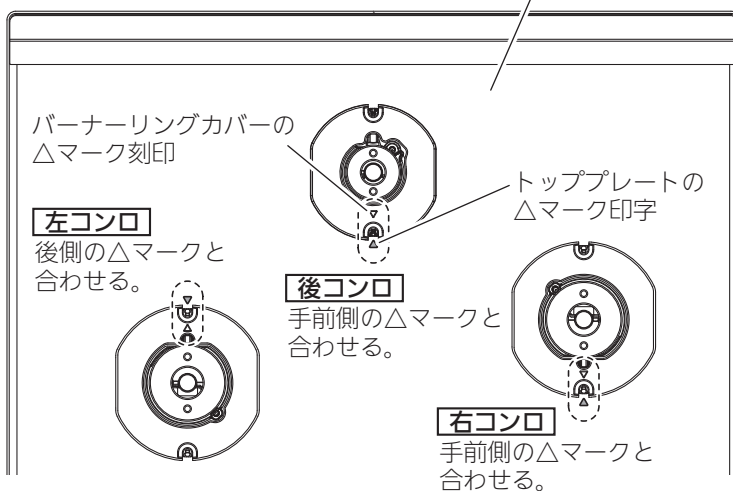
- バーナーリングカバー・バーナーキャップ取り付け後、ごとくを正しく取り付けてください。

◎バーナーリングカバーの取り付けかた

※バーナーリングカバーは、コンロの位置によって取り付ける方向が異なります。

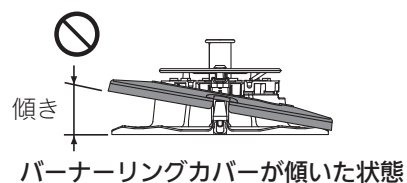
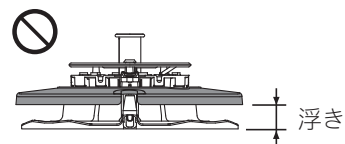
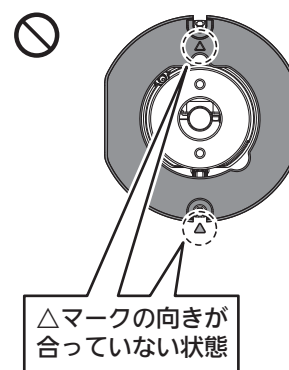
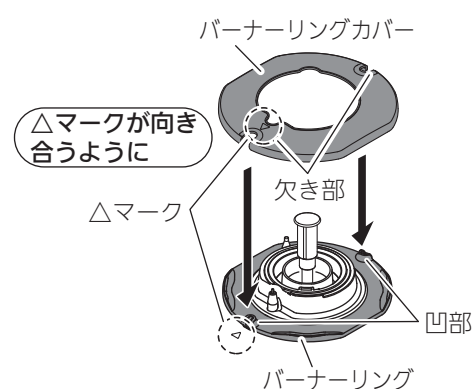
- トッププレートとバーナーリングカバーの△マークが向き合うようにし、欠き部(前後2カ所)をバーナーリングの凹部(前後2カ所)に合わせて、浮きがないように取り付けてください。

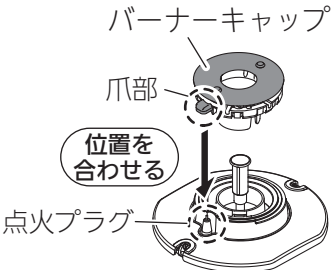
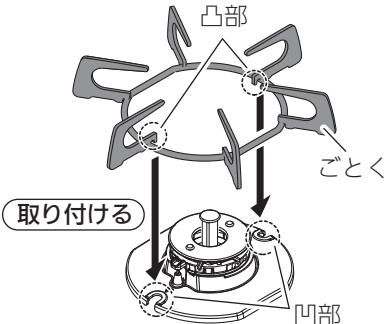
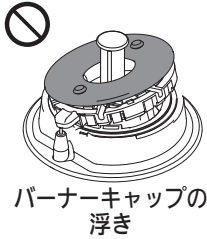
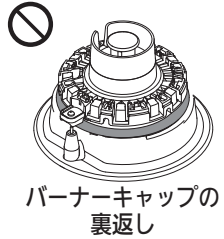
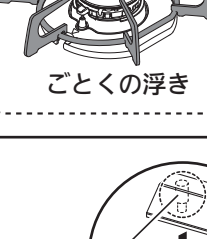
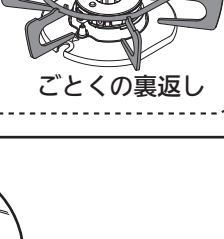
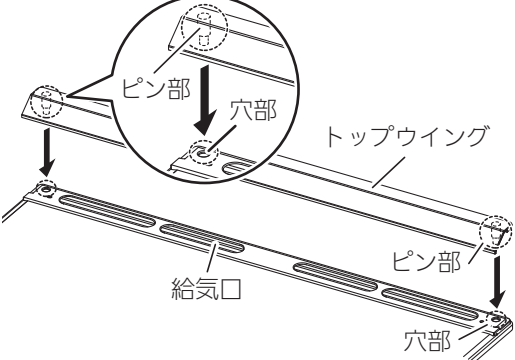
トッププレート

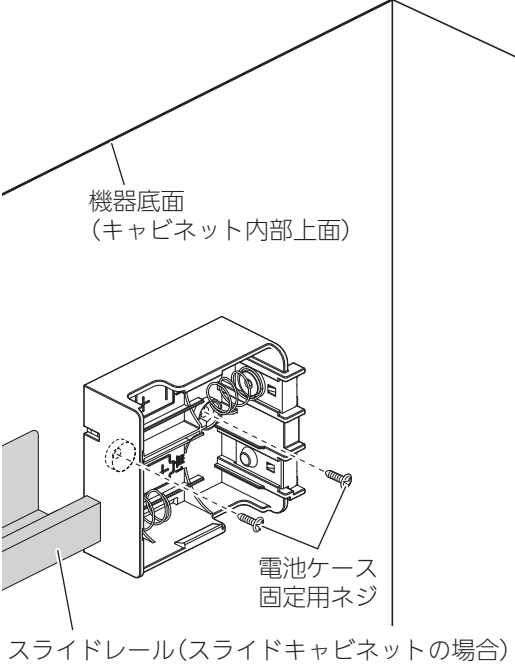
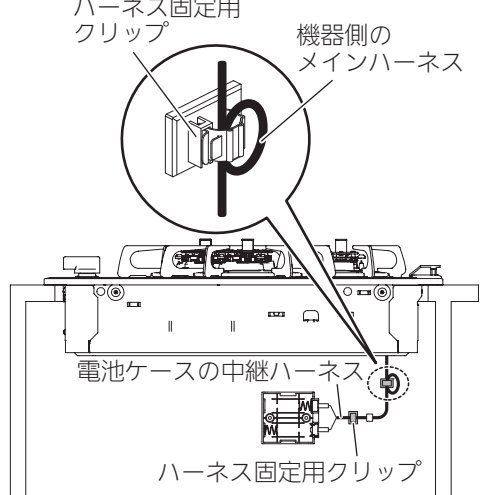
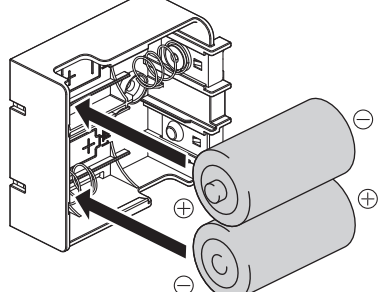


⚠ 注意

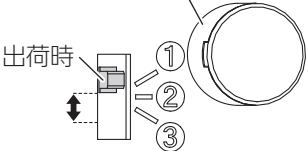
必ず守る
 トッププレートの△マーク印字とバーナーリングカバーの△マーク刻印が向き合うように正しく取り付ける
 △マークが向き合っていない状態(浮き、傾きなど)で使用すると、点火不良、不完全燃焼、変形の原因になります。



作 業 手 順	説 明 図
◎バーナーキャップの取り付けかた - バーナーキャップの爪部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、浮きがないように取り付けてください。 (点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。) ◎ごとくの取り付けかた - ごとく内側の凸部(前後2カ所)を、バーナーリングカバーの凹部(前後2カ所)に入れて、浮きがないように取り付けてください。 ⚠ 注意 ! 必ず守る バーナーキャップは正しく取り付ける 誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用すると、 - 点火しない場合があります。 - 炎のふぞろいや逆火で<u>不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。</u> - 機器の中に炎がもぐりこんで、<u>焼損する原因になります。</u> - 機器寿命が短くなるおそれがあります。 ! 必ず守る バーナーリングカバーとごとくは正しく取り付ける 誤った取り付けかた(浮き、裏返し、ズレなど)で使用すると、鍋などが不安定になり、傾いたり、倒れたりし、<u>やけど、点火不良、不完全燃焼、変形の原因になります。</u> また、取り付けの際に衝撃を加えると、トップレートに<u>キズがついたり、ガラスが割れる原因になります。</u>	       
5. トップウイングの取り付け トップウイングのピン部を給気口の穴部に合わせて取り付けてください。	

作 業 手 順	説 明 図
6. 電池ケースの固定 - 電池ケースは機器底面(キャビネット内部上面)より10mm以上離し、キャビネット内部左面に取り付けてください。 ※ スライドキャビネットに設置する場合は、スライドレールの後側(スライドキャビネットに接触しない位置)に電池ケースを取り付けてください。 - 電池ケース固定用ネジ(2本)で電池ケースを固定してください。 ※ キャビネット板厚より電池ケース固定用ネジが長い場合は、補強材を使用して固定してください。 ※ 補強材は同梱していません。 ⚠ 注意 電池ケースは機器底面に取り付けない 引き出し収納時に電池ケースに当たり、<u>変形や破損の原因</u>になります。 お願い ・電池ケースの取り付け位置は、電池が交換ができること、ガス栓やキャビネットの引き出しなどに接触しないことを確認してください。	
7. ハーネスの取り付け - 電池ケースの中継ハーネスと機器側のメインハーネスのコネクターを接続する。 - ハーネス固定用クリップ(1個)で電池ケースの中継ハーネスを固定し、機器側のメインハーネスのたるみがないようにハーネス固定用クリップ(1個)でキャビネット側面に貼り付けてください。 ※ あまった機器側のメインハーネスは、右図のようにハーネス固定用クリップでたばねてください。 お願い ・ハーネスの取り付け位置は、ガス配管作業時に支障のないこと、キャビネットの引き出しなどに接触しないことを確認してください。	
8. 乾電池の取り付け お試用乾電池(単1形：1.5V)を2個使用します。 ・乾電池(単1形：2個)の⊕⊖を確かめ、乾電池を組み込んでください。 ⚠ 注意 乾電池の組み込む方向を間違えない 発熱や液漏れの原因になります。	

[レンジフードファンの赤外線信号の動作確認]

作業手順	説明図								
[レンジフードファンと連動する場合] ・器具栓つまみを押し回して点火操作し、レンジフードファンの連動を確認してください。 ・レンジフードファンが動作しない場合は、下記操作を行い、設定を変更してください。 ※レンジフードファンが連動対応していない場合は、動作しません。 ◎設定を変更するとき 1. 電池ケースより乾電池を抜いてください。 ※ 10ページ「8.乾電池の取り付け」を参照してください。 2. トッププレートを取り外してください。 ※ 取り外し方法は、7～9ページ「[部品の取り付け]」の項を参照して、逆の手順で行ってください。 3. 切替スイッチ(3段階)を②または③に設定してください。 (出荷時は①に設定されてます。) ※ 切替スイッチの位置で、各メーカー設定の信号に変更することができます。 4. 乾電池を電池ケースに戻してください。 5. 器具栓つまみを押し回して点火操作し、レンジフードファンの連動を確認してください。 ※ 再度設定をやり直す場合は、1. の手順から行ってください。 ⚠ 注意 ! 必ず守る 設定を変更する場合は、必ず乾電池を抜いて設定する 乾電池が入っている状態で切替スイッチを変更しても、設定は変更されません。	電池交換サイン表示部  ②、③のいずれかに切り替える <table><tr><th>レンジフード側信号 (レンジフードの主なメーカー名)</th><th>No.</th></tr><tr><td>NECフォーマットA (富士工業製、渡辺製作所製など)</td><td>①</td></tr><tr><td>NECフォーマットB (東芝キャリア製など)</td><td>②</td></tr><tr><td>家製協フォーマット (パナソニック製など)</td><td>③</td></tr></table>	レンジフード側信号 (レンジフードの主なメーカー名)	No.	NECフォーマットA (富士工業製、渡辺製作所製など)	①	NECフォーマットB (東芝キャリア製など)	②	家製協フォーマット (パナソニック製など)	③
レンジフード側信号 (レンジフードの主なメーカー名)	No.								
NECフォーマットA (富士工業製、渡辺製作所製など)	①								
NECフォーマットB (東芝キャリア製など)	②								
家製協フォーマット (パナソニック製など)	③								

ガス接続・ガス配管工事

◎ガス配管工事

・機器へのガス接続に必要な資格について

- ・都市ガス用機器の場合、内管工事士、簡易内管施工士、ガス機器設置スペシャリスト、ガス可とう管接続工事監督者のいずれかの必要な資格を有する者が施工すること。
- ・LPガス用機器の場合、液化石油ガス設備士の資格を有する者が施工すること。
(ガス機器設置スペシャリストは「燃焼器用ホース」の交換のみ施工可能)
なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化石油ガス設備工事事業開始届書」を提出する必要があります。

・機器を設置する場所にガス栓がない場合や、あっても適切でない(位置・口径)場合は、新設または交換をしてください。

・ガス接続方法

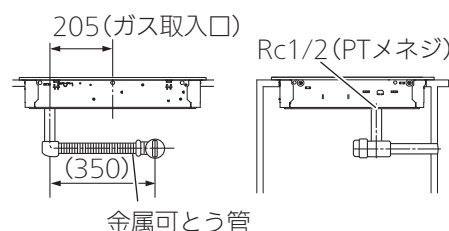
- ・ガス接続は金属管、金属可とう管または、機器接続ガス栓を使用してください。
- ・ガス栓の位置は、お客さまが操作しやすい場所に設置する。
- ・ガス接続はRc1/2 (PTメネジ) です。

・接続・工事後のガス漏れ確認

- ・ガス接続完了後は必ず漏えい検査をしてください。

標準配管接続例

〈単位：mm〉



設置後の点検確認

- ・設置が終了したら、チェックリストに基づいて、必ず再確認を行ってください。

チェックリスト

点検項目		点 検 内 容	参照ページ	チェック
機器およびその周辺	ガ ス 種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	3	
	同 こ ん 部 品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	2・6～10	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	3～4	
	設 置 条 件	障害物などとの離隔距離は十分ですか。	3～4	
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	4	
	水 平 設 置	水平に設置されていますか。	4	
	安 定 設 置	強固に設置され、ガタツキはないですか。	4	
	シ ール パ ッ キ ン	シールパッキンは確実に取り付けられていますか。	7	
	給 排 気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	4	
	乾 電 池	乾電池ケースは正しく取り付けられていますか。	10	
高 温 炒 め ボ タ ン		高温炒めモードが設定できますか。(3秒以上押す)	—	
キ ャ ビ ネ ッ ト		キャビネットに背板がありますか。(機器後方に穴があいていませんか。)	4	
ガス接続・ガス配管工事		接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	裏表紙	
ラ ベ ル 貼 付		接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼り付けましたか。	—	
レ ン ジ フ ード 連 動		レンジフードファンが点火動作に連動して動作しましたか。	11	

試運転

- ・正しく設置されていることを確認してから、機器のガス栓を開き、取扱説明書の「使いかた」に基づいて点火および試運転を行ってください。
- ・試運転終了後は、必ず器具栓つまみを「消火の状態」にしてください。
- ・試運転終了後、長期間使用しないときはガス栓を閉めておいてください。